

## 目 次

I.	総会	
1)	平成24年度定時総会	2
2)	平成24年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
1)	理事会審議議題	8
2)	会員定例会審議議題	10
3)	宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会 総務・経理合同部会の開催	12
4)	外国映画通関連絡協議会の開催	12
5)	外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
1)	外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の 広報活動に関する事業	13
2)	外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団 体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	13
3)	国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、 保存及び特殊上映に関する事業	16
4)	外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術 研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5)	映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、 後援及び開催に関する事業	19
6)	輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の 斡旋及び知的財産保護に関する事業	21
7)	前各号に掲げるもののほか、 この法人の目的を達成するために必要な事業	22
	別添各種資料	
	外画概況 国別	23
	外画概況 会社別	26
	作品目録	30

## 一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

### I. 総会

#### 1) 平成24年度定時総会

平成24年度定時総会が以下の通りおこなわれた。

開催日時： 平成24年6月1日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成23年度事業報告、決算報告ならびに平成24年度事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事松岡宏泰、理事椎名保、理事依田巽、理事幸田順平の4氏の選任が承認可決され、理事風野健治の退任が承認可決された。

#### 2) 臨時総会

臨時総会が以下の通りおこなわれた。

開催日時： 平成25年1月18日 午後11時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

理事豊島雅郎の退任が承認可決され、宮田昌紀の新任理事が承認可決された。

#### 3) 平成24年度事業計画

平成24年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が、平成24年4月1日より同25年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下であり邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。

また一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を諮り、映画産業全体の発展に寄与していく。

(1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年度に配給公開された輸入外国映画の年度別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

①年間外国映画統計資料

平成元年より各年度に配給公開された輸入外国映画作品について『映画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。

また本年からは、50年事業として発刊した「外配協50年史」内の“戦後外国映画公開作品リスト”を毎年更新し継続編集発刊する予定である。また外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接の聞き取り調査により、年間興行収入ベストテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

(2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通じて公表する。

①優秀外国映画輸入配給賞

この賞は、年間を通じて作品的に優秀でなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員12名が厳正な選考の上、経済産業大臣賞を初め各賞を授与している。

②筑紫賞

「映画館に行こう！」実行委員会の要請で、広く映画を普及させ、日本語の感性を向上させようとジャーナリスト故筑紫哲也氏の提唱により平成16年より制定された賞で、すぐれた日本語映画タイトルに本賞を授与している。

(3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

①シネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。1年間に配給される新作映画の情報を、プレゼンテーションやシンポジウム、トークショー、試写会を通じて、一般の方々や劇場関係者およびマスコミに対して発信し、映画観客の増大と日本の映画産業の発展に大きく貢献することを目的とする。

②「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人映画製作者連盟及びモーションピクチャーアソシエーション(MP A)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとして「夫婦50割引」「高校生友情プライス」等の入場割引サービス等を行ってきた。同実行委員会としては、新たなるキャンペーンを行い、より多くの国民が映画に触れる機会を増やすため、鋭意観客の動向調査を行う。さらに全国上映劇場の上映時間のデータベース化を行い、インターネット及び携帯電話での上映時間検索システムを発足させていく他、YAHOO!との連携によりPCでの予告編サイトを拡充し、観客の利便性を向上させる。

③優秀外国映画の保存

東京国立近代美術館フィルムセンターと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産としてフィルムセンターに寄贈する努力を行う。

④副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴

える催しを後援をしていく

(4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカを初めとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

①映画産業交流会

年1回モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達を及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催する。

②映画技術革新セミナー

近年の映像デジタル化による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナーの開催、技術研究会などを行っていく。

③外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、この研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に情報を提供する。

④外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝にいて直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催しているほかY A H O O ! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整、システムの維持・保全に加え、シネマショー、優秀外国映画輸入配給賞などのイベントを共同して行っている。

(5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を行う。

①各種映画祭

これまで東京国際映画祭を初め、神戸100年映画祭、大阪ヨーロッパ映画祭、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また「映画の日」など映画各団体が実行する催事に対する協力を行う。さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムフェスティバル、ブルガリア映画祭、フランス映画祭、シネマアフリカ等海外の映画紹介への協力を行う。

(6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画産業の多様化とIT化に伴う、劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

①映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による映像が、インターネットに違法流通し、また海賊版DVDとして違法販売され、映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議し、連携を取って映画盗撮防止対策を推進していく。

②会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取り対策会員各社からの問題提議に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規等の収集に努め、速やかな問題解決に努める。

(7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

① 50周年記念事業

昭和37年1962年社団法人として発足した当協会は、平成24年(2012)50年を迎えたことから、この1年を50年イヤーとして位置づけ戦後外国映画が我が国にもたらした社会的有用性を振り返る事業を展開し、広く国民に外国映画の魅力を訴え日本の映画産業発展に資するため、当協会50年史の発刊、戦後公開された全外国映画リストの作成、50年記念式の実施、第50回優秀外国映画輸入配給賞の実施に加え東京国立近代美術館フィルムセンターとの共催企画を実施する。

## Ⅱ. 理事会、会員定例会、部会、事業

### 1) 理事会審議議題

○第10回理事会（4月20日開催）  
第9回（3月）理事会議事録承認の件  
平成23年度決算の件  
平成24年度予算の件  
任期満了理事の件  
50周年記念事業の件  
その他

○第11回理事会（6月1日開催）  
第10回（4月）理事会議事録承認の件  
4月収支月次報告の件  
平成23年度決算の件  
平成24年度予算の件  
平成24年度理事選任の件  
フィルムセンター上映会の件  
その他

○第12回理事会（7月20日開催）  
第11回（6月）理事会議事録承認の件  
5月、6月収支月次報告の件  
トーキョーシネマショー2012の件  
「映画館に行こう！」実行委員会の件  
50周年記念事業の件  
その他

○第13回理事会（9月21日開催）  
第12回（7月）理事会議事録承認の件  
7月、8月収支月次報告の件  
新会員入会の件  
「トーキョーシネマショー2012」終了の件  
「50周年記念事業」終了の件  
JASRACの件  
その他



○第14回理事会（10月19日開催）  
第13回（9月）理事会議事録承認の件  
9月収支月次報告の件  
「映画館に行こう！」実行委員会の件  
第51回優秀外国映画輸入配給賞の件  
JASRACの件  
その他

○第15回理事会（11月16日開催）  
第14回（10月）理事会議事録承認の件  
10月収支月次報告の件  
年頭名刺交換会の件  
JASRACの件  
その他

○第16回理事会（1月18日開催）  
第15回（11月）理事会議事録承認の件  
11月、12月収支月次報告の件  
年頭名刺交換会終了の件  
外画概況の件  
JASRACの件  
その他

○第17回理事会（2月15日開催）  
第16回（1月）理事会議事録承認の件  
1月収支月次報告の件  
外画概況の件  
JASRACの件  
その他

○第18回理事会（3月15日開催）  
第17回（2月）理事会議事録承認の件  
2月収支月次報告の件  
平成24年度仮決算の件  
平成25年度事業計画案の件  
第51回優秀外国映画輸入配給賞の件  
その他

## 2) 会員定例会審議議題

### ○4月会員定例会（4月20日開催）

- 3月会員定例会議事録承認の件
- 3月事業報告承認の件
- 平成23年度決算の件
- 平成24年度事業計画案の件
- 50年記念事業の件
- 「映画館に行こう！」実行委員会の件

### ○6月会員定例会（6月1日開催）

- 4月会員定例会議事録承認の件
- 4月事業報告承認の件
- トーキョーシネマショー2012の件
- 「映画館に行こう！」実行委員会の件
- フィルムセンター上映会の件
- 「第25回東京国際映画祭」後援名義申請の件
- 「TIFFCOM2012」後援名義申請の件
- 「第5回したまちコメディ映画祭 in 台東」後援名義申請の件

### ○7月会員定例会（7月20日開催）

- 6月定例理事会議事録承認の件
- 6月事業報告承認の件
- トーキョーシネマショー2012の件
- 「映画館に行こう！」実行委員会の件
- 50年記念事業：フィルムセンター上映会の件
- 平成24年上期外面概況の件
- あいち国際女性映画祭2012後援名義依頼の件
- 著作権法の一部を改正する法律について

### ○9月会員定例会（9月21日開催）

- 新会員紹介
- 7月定例理事会議事録承認の件
- 7月、8月事業報告承認の件
- 「トーキョーシネマショー2012」終了の件
- 「映画館に行こう！」実行委員会の件
- 第25回東京国際映画祭の件

第25回東京国際映画祭 MPAセミナー

「映画産業とTV放送産業の経済貢献」後援名義の件

第17回神戸100年映画祭 後援名義の件

第19回大阪ヨーロッパ映画祭後援名義の件

日本映画テレビ技術者協会「MPTE AWARDS 2012」後援名義の件  
JASRACの件

○10月会員定例会（10月19日開催）

9月定例理事会議事録承認の件

9月事業報告承認の件

「映画館に行こう！」実行委員会の件  
年頭名刺交換会の件

京都ヒストリカ国際映画祭 後援名義申請の件

テレビ放送へのラウドネス運用規定導入の件

○11月会員定例会（11月16日開催）

10月会員定例会議事録承認の件

10月事業報告承認の件

年頭名刺交換会の件

「映画館に行こう！」実行委員会の件

第4回「午前十時の映画祭」後援名義の件

第25回東京国際映画祭終了の件

三菱総研「日本の映画産業及びテレビ放送産業の経済効果に関する調査」の件

○1月会員定例会（1月18日開催）

11月会員定例会議事録承認の件

11月、12月事業報告承認の件

年頭名刺交換会終了報告の件

平成24年外面概況の件

第8回大阪アジア映画祭後援名義の件

東京2020オリンピック・パラリンピック招致PR映像について

映画館盗撮ニュースの件

第57回「映画の日」中央大会の件

○2月会員定例会（2月15日開催）  
最近の著作権関連の動向について  
1月会員定例会議事録承認の件  
1月事業報告承認の件  
第51回優秀外国映画輸入配給賞の件  
2012年全国映画概況(映連資料)の件

○3月会員定例会（3月15日開催）  
2月会員定例会議事録承認の件  
2月事業報告承認の件  
平成24年度仮決算の件  
平成25年度事業計画案の件  
第51回優秀外国映画輸入配給賞の件  
「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2013」後援名義の件

- 3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催  
理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のための一般会議が行われた。

○宣伝部会  
4回（9月26日、10月30日、1月24日、3月5日）

○営業部会  
4回（9月25日、11月27日、1月23日、3月26日）

○製作＝渉外部会  
4回（9月28日、11月22日、1月25日、3月18日）

○総務・経理合同部会  
4回（9月26日、11月27日、1月21日、3月28日）

- 4) 外国映画通関連絡協議会の開催  
4回（4月25日、9月28日、11月22日、1月25日）

- 5) 外画宣伝部長会の開催  
9回（4月27日、6月22日、7月27日、8月28日臨時、9月26日、  
10月30日、12月4日年末懇親会、1月24日、3月5日）

### Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

平成24年外国映画作品目録を平成25年1月に発行。平成24年外画概況—国別、会社別—を7月(上半期)と1月に発行。作品目録ならびに外画概況は別添。なお、各種資料は完成後すぐに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第51回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度(1962年)から通商産業省(現経済産業省)の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も平成24年度で51回を迎えた。第51回同賞は平成24年4月1日から平成25年3月31日迄の1年間に作品的に優秀で、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、8名(別項表示)の審査員により審査がおこなわれ、各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、11月29日(木)に開催され、第51回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長に品田雄吉氏、副委員長に秋山登氏の就任が決定した。

審査員： 秋山 登、明智 恵子、大高 宏雄、小林 千穂、佐竹 慎一、  
品田 雄吉、村上 光一、渡辺 祥子 (五十音字)

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月8日(水)午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員8名出席のうえ開かれた。品田審査委員長から、審査の基本方針について説明が行われ、外国映画輸入配給協会が作成した2012年度「外国映画作品目録」を資料

に、審査対象会社109社(当協会会員会社18社、MPA加盟会社5社、その他86社)を1社ずつ配給した全作品を検討しつつ審議を行った結果、最終審査会には以下が選ばれた。

- ギャガ株式会社
- 株式会社ショウゲート
- 東宝東和株式会社
- ニューセレクト株式会社 (アルバトロスフィルム)
- ブロードメディア・スタジオ株式会社
- ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
- 20世紀フォックス映画
- 株式会社アップリンク
- 株式会社アンプラグド
- 株式会社スターサンズ
- 有限会社セテラ・インターナショナル
- 株式会社ツイン
- 株式会社ファントム・フィルム
- 有限会社ロングライド

#### 第2回審査会 (最終審査会)

2月6日に行われた第1回審査会に続いて最終審査会は3月6日(水)午後12時より日本映画製作者連盟会議室において開かれた。第1回審査会で選ばれた14社の平成24年4月から平成25年3月末日までに公開された作品リストをもとに、品田委員長の他7名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定致した。

#### <最優秀賞>

- 東宝東和株式会社  
「レ・ミゼラブル」「テッド」「メン・イン・ブラック3」

邦高洋低と言われる現在の映画界にあって、「レ・ミゼラブル」においては、作品内容はもとより数十年ぶりに広く日本人にミュージカル映画作品の素晴らしさを再認識させて大ヒット、外国映画の興行に久しぶりに強い光を与えたことに対し、高い評価が集まりました。また「メン・イン・ブラック3」「テッド」では数多くの観客を動員し、とりわけ「テッド」では、10代20代の若い女性層に改めて外国映画の面白さと楽しさを伝え、新しい観客層を開拓した功績は称賛すべきものとの評価となり今回の受賞となりました。

<優秀賞>

○ギャガ株式会社

「最強のふたり」「ゼロ・ダーク・サーティ」「アーティスト」  
「裏切りのサーカス」

外国映画配給においてここ数年の作品に対する細やかな選択眼とその成果にはめざましいものがあり、今年度は「最強のふたり」を大ヒットさせたほか、「ゼロ・ダーク・サーティ」「アーティスト」では海外においても高く注目された作品を、独自の判断でいち早く配給を決めるなど、作家性と娯楽性をとり混ぜての安定した作品提供に対して、極めて高い評価が集まりました。さらに「裏切りのサーカス」のように内容深く味わいのある作品を提供している姿勢にも称賛の声があがりました。

<奨励賞>

○ブロードメディア・スタジオ株式会社

「私が、生きる肌」「テイク・ディス・ワルツ」「凍える牙」「危険なメソッド」

近年幅広い内容の外国映画を数多く輸入配給している活動と実績に対して評価が集まりました。今年度においては「私が、生きる肌」「テイク・ディス・ワルツ」「凍える牙」「危険なメソッド」など多彩で特徴のある作品を精力的に数多く輸入配給していることから、今後へのさらなる期待を含めて今回の受賞となりました。

○株式会社ファントム・フィルム

「ザ・マスター」「ムーンライズ・キングダム」「もうひとりのシェイクスピア」

「ザ・マスター」「ムーンライズ・キングダム」そして「もうひとりのシェイクスピア」が対象作品となりました。いずれの作品も一見難しい内容の作品であり個性的な作品でありながら、大胆に輸入配給した姿勢が注目されました。今後も外国映画の多様性と高質な作品を観客に提供し続けてほしいという期待から受賞が決まりました。

授賞式は平成25年4月17日に開催され、受賞関係者・招待者137名が参加した。

3. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第57回「映画の日」運営に協力した。

第57回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
渡辺 完二	ワナー エンターテインメント ジャパン(株)	ワナー・ブラザース映画 営業部課長
滝沢 政夫	(株)日本シネアーツ社	取締役 制作営業部長
幸田 順平	(社)外国映画輸入配給協会	理事 事務局長

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー」の開催

17回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は「トーキョーシネマショー2012」として以下の通り開催された。

会場：イイノホール

会期：7月31日（火）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン

NPO法人映像産業振興機構

協賛：アイマックスコーポレーション



## プログラム

### ○シンポジウム

#### 『映画宣伝の今』

進 行 : 大高宏雄氏 (映画ジャーナリスト 文化通信特別編集委員)

パネリスト: 新井重人氏 (東宝東和(株) 取締役 宣伝担当)

関本 信 氏 (ユナイテッド・シネマ(株)

常務取締役 営業統括本部長)

星野有香 氏 (パラマウント ピクチャーズ ジャパン

マーケティング本部長)

### ○セミナー

#### 「IMAX® GT: 次世代レーザーシステム」

講師: アイマックスジャパン(株) ジェネラル・マネージャー 高谷 清人 氏

#### 「道標 Milestone- フィルム・デジタル比較コンテンツ上映」

講師: 富士フイルム(株) 神奈川工場

イメージング材料生産部 映画技術担当 永井 悟 氏

報映産業(株) 映画営業部 営業グループ 平塚 高志 氏

#### 「デジタルシネマの音声」

講師: 日本映画・テレビ録音協会／

(株)東宝スタジオサービス 取締役 ポスプロ担当 多良 政司 氏

## 2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資する事を目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の平成24年度事業に積極的に参加した。

### <主な活動内容>

#### ①映画館での盗撮防止への継続的活動

#### ②第7回「筑紫賞: ゴールデンタイトル・アワード」選考および授賞式

日 時 : 11月30日(金) (「映画の日」式典にて)

会 場 : 東京會館

受賞作品 : 「最強のふたり」(UNTOUCHABLE)

配 給 : ギャガ株式会社

#### ③上映時間データベース及びYAHOO! 予告編サイトの継続による観客利便性の拡充

#### ④夏キャンペーン・・・全国劇場にて夏から秋の公開作品情報を掲載した公式パンフレットを210万部発行。この中で、ポップコーン引き換え券によるファンサービスを実施

⑤ “新作映画イッキに見せます！ in 東京国際映画祭”・・・10月25日東京国際映画祭期間中に秋から正月に向けての話題作予告編をいっきに公開するイベントを実施。タレントも参加した華やかな催しを開催した。

### 3. 東京国立近代美術館フィルムセンターへのフィルム寄贈

当協会会員会社から東京国立近代美術館フィルムセンターに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て、日本（東京国立近代美術館フィルムセンター）にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが、重要な仕事であると認識して、各社が努力している。

### 4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

#### 1. 年頭名刺交換会の開催

平成25年1月7日（月）モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の協力を得て、日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者695名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発達を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を開催した。

#### 2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業44社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他年間を通じて主に以下のような活動を行った。

①定例会合（年4回）

②研修会（「トーキョーシネマショー2012」と合同開催）

日時：平成24年7月31日（火）15時より16時30分

場所：イイノホール

議題：「IMAX® GT：次世代レーザーシステム」

講師：アイマックスジャパン(株) ジェネラル・マネージャー 高谷 清人 氏

「道標 Milestone- フィルム・デジタル比較コンテンツ上映」

講師：富士フィルム(株) 神奈川工場

イメージング材料生産部 映画技術担当 永井 悟 氏

報映産業(株) 映画営業部 営業グループ 平塚 高志 氏

「デジタルシネマの音声」

講師：日本映画・テレビ録音協会／

(株)東宝スタジオ・ヒース 取締役 ポスプロ担当 多良 政司 氏

### 3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーショントピクチャー・アソシエーション（MPA）加盟会社、映連加盟会社他、合計30社の宣伝部長で構成される宣伝部長会（9回）を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客の増大に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。一般社団法人映画製作者連盟と協力して、2012年度映画ジャーナリスト・宣伝部合同年賀の会を1月11日（金）に開催し、映画関係ジャーナリストとの交流を深めた。また「映画館に行こう！」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO! 予告編サイトについて改良、改善に努めたほか、同実行委員会が主催した「夏キャンペーン」及び「新作映画イッキに見せます！ in 東京国際映画祭」の実行部隊として活動した。

### 5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第25回東京国際映画祭運営に協力をし、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。トーキョーシネマショーは第25回東京国際映画祭提携企画となった。

平成24年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
野口久光 シネマ・グラフィックス	平成24年 4月28日（土） ～ 6月24日（日）	うらわ美術館
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2012	平成24年 7月14日（土） ～ 7月22日（日）	SKIPシティ
あいち国際女性映画祭 2012	平成24年 9月 1日（土） ～ 9月 9日（日）	ウィルあいち
第5回 したまちコメディ映画祭 in 台東	平成24年 9月14日（金） ～ 9月17日（月）	台東区 （浅草地区・上野地区）

第8回 京都映画祭	平成24年10月 2日(火) ～10月 8日(月)	祇園会館、 京都文化博物館 他
第25回 東京国際映画祭	平成24年10月20日(土) ～10月28日(日)	六本木ヒルズ 他
第25回東京国際映画祭 ＜協賛企画＞ MPAセミナー	平成24年10月20日(土)	六本木ヒルズ
TIFFCOM2012	平成24年10月23日(月) ～10月25日(水)	六本木ヒルズ
MPTE AWARDS 2012	平成24年10月25日(木)	六本木ヒルズ
第17回 神戸100年映画祭	平成24年11月 2日(金) ～11月11日(日)	ピフレホール、 神戸アートビレッジセン ター
第19回 大阪ヨーロッパ映画祭	平成24年11月23日(金) ～11月26日(月)	エンセラーンホール
第4回 京都ヒストリカ映画祭	平成24年12月 1日(土) ～12月 9日(日)	京都シネマ、 京都文化博物館
第7回 大阪アジア映画祭	平成25年 3月 9日(金) ～ 3月18日(日)	梅田ブルク7、 梅田ガーデンシネマ 他
第5回 沖縄国際映画祭	平成25年 3月23日(土) ～ 3月30日(土)	沖縄コンベンションセン ター 他

### 3. 各種映画賞運営に協力

第36回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第67回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催の第55回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。

この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。

平成22年1月および23年1月からは著作権法一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。また速やかな映画業界全体としての問題解決に向かって各関連団体との協議を重ねた。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 50周年記念事業

平成24年(2012年)に迎えた協会発足50周年の記念事業に関して、「外配協発足50周年記念事業」実行委員会(実行委員長:松岡会長)は、50年史「外国映画に愛を込めて—外配協の50年—」を24年3月末に刊行し、各方面に配布した。この冊子は、外配協50年をふり返りながら座談会や劇場絵看板・ポスターグラビアに加え、1945年から現在に至る外国映画封切リストを掲載、貴重な資料となった。

また、平成24年4月11日有楽町朝日ホールにて記念事業として「発足50周年記念式」「第50回優秀外国映画輸入配給賞授賞式」を開催した。とくに発足50周年を記念して今回だけ設けられた「外国映画ベストサポーター賞」には藤原帰一氏(東京大学大学院教授)と前田敦子氏(タレント)が選ばれ受賞した。

さらに国立近代美術館フィルムセンターとの共催事業として4月11日から「ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代」と題して、かつて映画館を飾った絵看板や入場券などの展示会を開催した他、7月11日から29日まで「ロードショーとスクリーン 戦後ブームとなった外国映画」と題して、主に60年代から80年代の話題作・ヒット作のリバイバル上映会を実施し、大好評のうちに終了した。

以上